

田尻だより

平成 17 年

5月 号

Vol. 26

次回の田尻便りは
6月発行予定!

皐月の候、山の木々

も私たちの苗も、若々しい緑を湛えて鮮やかに輝いています。

さて、今年もやって

まいりました田植えの季節。忙しく、厳しく、

大変な農作業であります。が、それでも楽しみなのは、かわいい苗の

成長を願う百姓の心情

なのでしうか。

昔ながらの水苗代は、田んぼで苗を育て、ビニールトンネルと水張りで保温(ビニール)します。



(苗箱) (田んぼ)

プール育苗は、これの応用です。

〔プール育苗〕

種まきの後、小野寺

家では育苗箱をビニールハウスへ移し、ビニールシートの上に並べ

ます。通常、苗は毎日水遣りをして育てるの

ですが、私たちは本葉が1〜2枚出て、種の中

の養分を使いきる頃になると、ビニールシ

ートに水を張ります。これがプール育苗です。

プール育苗は保温効果

が高く、水位にさえ水をつければ、毎日本

をやる必要がありません。また、水を張る事でカビや病原菌を防ぐこともできたり、根の発育が旺盛になる事で田植え後の根張りが良くなり、雑草に負けな

い丈夫な稲ができます。何よりも、北国では保温をしてなるべく

大きな苗を育ててから田んぼへ移植する事が

重要です。その技術によつて初めて、東北でも

美味しいお米がとれるようになったのです。

小野寺家では苗が多く、ビニールトンネルではと

間に合わないため、(苗)

ビニールシート

ビニールハウスの中に

プールを作ります。

米 曆 ~こめごよみ~

- 4月4日 ビニールハウスの補修をしました。
- 4月7日 ~8日 種まきをしました。
- 4月21日 プール育苗を開始しました。

(今年の種まきは、初日は最高の種まき日よりでしたが、2日目は春の嵐の暴風と戦いながら種まきをしました。もうダメだと何度も思いました。)

嫁日記

農家の敵は農家。そんな言葉があります。端的に的を得た言葉だなと思います。

私の実家は小さな農家で、母や妹や弟が、都会から人を迎えて農業体験をしています。収入などは微々たるものなので、家族みんなで支え合ってささやかに暮ら

しています。けれど、周囲の人はこう言います。いつまでも遊んでいないで、さっさと就職して家計を助ければいいのに、と。そんな事を言うのは決まって農家の人か、元、農家の人。

農を軽んじ商を重んじる日本の現状ゆえに、農の喜びに満ちたつましい生活を、農家が笑うのでしょうか。

絵と文 / 小野寺ひかる